

- 身体障害認定基準等の取扱いに関する疑義について（平成15年 2月27日障企発0227001号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長通知）（抄）

（変更点は下線部）

新	旧
<p>別紙</p> <p>身体障害認定基準等の取扱いに関する疑義について</p> <p>[総括事項]～[肢体不自由]（略）</p> <p>[心臓機能障害]</p> <p>（質疑）</p> <p>1. 先天性心疾患による心臓機能障害をもつ者が、満18歳以降に新規で手帳申請した場合、診断書及び認定基準は、それぞれ「18歳以上用」と「18歳未満用」のどちらを用いるのか。</p> <p>（回答）</p> <p>それぞれ「18歳以上用」のものを使うことが原則であるが、成長の度合等により、「18歳以上用」の診断書や認定基準を用いることが不適当な場合は、適宜「18歳未満用」により判定することも可能である。</p> <p>2～10（略）</p> <p><u>（質疑）</u></p> <p><u>11.（質疑）1において、新規で手帳申請した場合の取扱いについて示されているが、再認定の場合における診断書や認定基準も同様の取扱いとなるのか。</u></p> <p><u>（回答）</u></p> <p><u>同様である。</u></p> <p>[じん臓機能障害]～[肝臓機能障害]</p> <p>（略）</p>	<p>別紙</p> <p>身体障害認定基準等の取扱いに関する疑義について</p> <p>[総括事項]～[肢体不自由]（略）</p> <p>[心臓機能障害]</p> <p>（質疑）</p> <p>1. 先天性心疾患による心臓機能障害をもつ者が、満18歳以降に新規で手帳申請した場合、診断書及び認定基準は、それぞれ「18歳以上用」と「18歳未満用」のどちらを用いるのか。</p> <p>（回答）</p> <p>それぞれ「18歳以上用」のものを使うことが原則であるが、成長の度合等により、「18歳以上用」の診断書や認定基準を用いることが不適当な場合は、適宜「18歳未満用」により判定することも可能である。</p> <p>2～10（略）</p> <p><u>（新規）</u></p> <p>[じん臓機能障害]～[肝臓機能障害]</p> <p>（略）</p>